

スーパーJAZZギタリスト寺屋ナオ 入魂の3rd登場!

トリオ編成でバップからコンテンポラリーまで、最高のギターを聴いて欲しい。

Nao Teraya - Three -



Musicians

寺屋ナオ : Nao Teraya (guitar)
山本裕之 : Hiroyuki Yamamoto (bass)
大井澄東 : Oi Sumito (drums)
須田晶子 : Akiko Suda (vocal)

1. 7th sense(music:Nao Teraya)
2. Someday my prince will come(music:Frank Churchill)
3. Dear Mr.Monk(music:Nao Teraya Word:Akiko Suda)
4. Walk'in on the sunnyside(music:Nao Teraya)
5. I got rhyth m(music:George Gershwin)
6. Blues from south Urawa(music:Nao Teraya)
7. After the rain(music:Nao Teraya Word:Akiko Suda)
8. Honeysuckle rose(music:Thomas 'Fats' Waller)
9. MiSoLaSi(music:Nao Teraya)



SOUNDforte **SFJP2005** 定価2,000円(税込)

■寺屋ナオは曲者である。まず師匠が布川俊樹(g)と直下和彦(g)というのがいけない。宮本武蔵と佐々木小次郎に剣を習うようなもので、秋山小兵衛ですら太刀打ちできなくなる。「ジャズの掟」では無垢な生徒を演じながら、実はギブソンのコンテストであっさり最優秀賞をかつさうし、石黒ケイ(vo)のパンマスを務める姿には、美空ひばりの「悲しい酒」を伴奏する古賀政男を重ねてみたくなる。これは、そんな曲者の3枚目のリーダー作で、正面からジャズギターに取り組むスタンスが前2作より鮮明になっているのだけれど、決して“変化”ではなく、彼の“一面”でしかないことには注意したい。懐の深さを再認識させる“素顔のナオ”が垣間見える。(富澤えいち:ジャズライブ2010年5月号)

■ギブソン・ジャズ・ギター・コンテストで最優秀に輝いた経歴もある実力派ジャズ・ギタリストの3枚目のリーダー作。スタンダード曲にも通じる柔らかく暖かなオリジナル曲(ボーカル2曲収録)をメインに、カバー曲も3曲収録。高速ビートで弾きまくる「ハニーサックル・ローズ」はスリリングな好演だ。バイオリン奏法によるコード・プレイもクール。(ギター・マガジン2010年5月号)

Tour Date

7/18

ADLib(022-227-5137)

宮城県仙台市青葉区国分町1-6-1ルナパークビル4F

w/菅田かおり(vo) 中西暁子(tp) 山本裕之(b) 大井澄東(d)

7/19

OCTET(023-642-3805)山形市幸町5-8

<http://www.jazzoctet.com>

w/中西暁子(tp) 山本裕之(b) 大井澄東(d)

お問い合わせは

有限会社ディー・シー・フォルテ / サウンドフォルテ

□本社 〒242-0021 神奈川県大和市中央4-14-9
Tel.046-263-7070 Fax.046-263-7106
<http://www.soundforte.com/>
E-mail : kaz@dc-forte.co.jp